

【日本とネパールで同日開催】 犬に花輪を贈って「ありがとう」！ 犬が主役の祭り「ククル・ティハール」 11月8日（日）、大阪・應典院で開催

日ネ国交樹立70周年。本国の祭日が日曜日に重なる特別な年に、犬への感謝の儀式と子どもの『イヌ会議2026』を開催

ネパールでは年に一度、犬にマリーゴールドの花輪をかけ、額に赤いティカをつけて感謝を伝えます。この伝統文化を体験できる「ククル・ティハール2026」が、11月8日（日）、大阪市天王寺区の浄土宗應典院で開催されます。

犬を真ん中に、子どもも大人も、日本人もネパール人も一緒に祭りをつくる参加型イベント。入場無料（ホールは1,000円、小学6年生以下無料）。



※写真はイベント告知チラシのイメージです。当日の撮影場面ではありません。

■ カメラが捉える3つの場面

① 犬が花輪をまとう「ククル・ブジャ」

マリーゴールドの花輪と赤いティカで犬に「いつもありがとう」。犬と飼い主が向き合う、祭りを象徴する感謝の儀式です。犬同伴での参加は事前申込みが必要です。

② 子どもが犬になって人間に物申す!?『イヌ会議2026』

手作りの犬のお面をつけて、神様のいる「イヌ会議」に参加。犬の立場で人間との暮らしを考え、即興劇で表現します。演出は田中やんぶさん（嗚呼A-yan!!）。

③ 犬がいるだけで会話が生まれる「出張イヌ場」

京都市立芸術大学発のアートプロジェクトが應典院の中庭へ。犬を真ん中に、人と人の境界が自然にほどける空間をつくれます。12:30～14:00。

■ 2026年は日ネ国交樹立70周年、祭日と日曜日が重なる特別な年

1956年9月1日の外交関係樹立から70周年を迎える2026年。ネパール本国のククル・ティハールが11月8日（日）にあたり、日本でも同じ日に祝える貴重な機会です。犬への感謝を通して、両国の人々と子どもたちをつなぎます。

■ 事前取材の題材もあります

京都・宇治の13代続く今村園芸で、マリーゴールドの種15,000粒を播種。実行委員会も植え替えや草引きに参加しました。ネパールの学校でも子どもたちが花を育て、同日開催を準備中。花がつなぐ日ネ交流の物語です。

■ 一日限りの「小さなネパール村」

午前11時から、ネパールの料理・お菓子・雑貨・花のマルシェが登場。花輪作り、ランゴリ（色粉や花で描く床飾り）、フラワーセラピーなどの体験も。14時からのホールプログラムでは、ネパールの音楽・舞踊、南インド古典舞踊、フラダンス、子どもたちの即興劇などを予定しています。

■ 仏教寺院でヒンドゥー教由来の祭りを開催

日ネ国交樹立70周年の今年、会場は浄土宗の應典院。ノートルダム教育修道女会の方々も運営ボランティアとして参加予定です。海外在住ネパール人協会日本関西支部（NRNA KANSAI）の後援・協賛を受け、宗教・国籍・世代を越えて一緒に祭りをつくります。

■ 主催者コメント

「ネパールのお祭りを『見に行った』だけではなく、『私も一緒につくった!』と思って帰ってもらいたいです。犬の気持ちを想像し、家族で命について話すきっかけになればうれしい。宗教も国籍も違うままで、手を取り合える一日にしたいと思います」

実行委員会代表・高木美佳（Sundari Mica）：ネパール在住歴17年。2003年、現地で歌手デビュー。

■ 開催概要・撮影計画の参考

開催日	2026年11月8日（日）11:00～17:00
場所	浄土宗應典院 大阪市天王寺区下寺町1-1-27
入場	無料／ホールプログラム1,000円（小学6年生以下無料） ※一部ワークショップは有料
主催	ククル・ティハール マリーゴールドと犬と光のお祭り実行委員会
後援・協賛	海外在住ネパール人協会日本関西支部（NRNA KANSAI）
主な時間	お面作り 11:30・12:15（各30分）／出張イヌ場 12:30～14:00 お芝居ワークショップ&即興劇 13:00～15:00／ホール 14:00～
犬の参加	犬同伴は事前申込み制。参加頭数・撮影位置等は主催者に要確認

■ 開催前の取材も歓迎します

主催者インタビュー、今村園芸でのマリーゴールド栽培、子どものアート企画、当日の犬への感謝の儀式など、取材内容に応じてご相談を承ります。写真素材の提供や関係者への取材調整も可能な範囲で対応します。

公式ホームページ：『ククルティハールJAPAN』で検索 ※犬同伴・各種予約の詳細も掲載

【取材・お問い合わせ】ククル・ティハールJAPAN実行委員会
担当：高木美佳 TEL：080-3786-5498
MAIL：sundari1016@gmail.com